

さきごろ横浜で開かれた「全国保健衛生大会」で、善道町一丁目町内会が、全国地区衛生組織連合会長表彰を受けた。長年にわたって地区衛生活動を推進し、衛生思想、衛生水準の向上に大きな成果を上げたのがその表彰理由です。

善道町一丁目は、現在、市の衛生モデル地区に指定されています。下水溝などの消毒を徹底して行っているため、夏でも蚊やハエはほとんどいないという清潔な環境を誇っています。もちろん、一朝一夕にしてな

町ぐるみで環境整備
全国表彰の善道町一町内会

という状態です。現在、町内会長の水沢さんは「私がこころをこめてきた三十八年頃は、ちよつとした大雨でもすぐ町の半分が水浸し。排

水が悪いので、腰の深さくらいまで水につかるんです。夏は蚊、ハエがひどく、それに汽車の煤煙と、ダブリパンチ。庭木にうつかり融ろうものなら真っ黒にな

地区に先がけてアメリシロの駆除を始めています。現在も一と十五の日は下水溝や家のまわりに薬剤散布、月一回の動力噴霧機を使った屋外消毒、ゴミステーションの整理整頓、消毒などを欠かさず行っています。また昨年から有価物の回収も始めています。「今年はまだ消毒をやらないでどうしたんだ」といふそくをもうしたことありますよ（水沢さん）という町内会のみなさんの積極的な声に支えられて、今日もきれいな環境づくりが進んでいます。

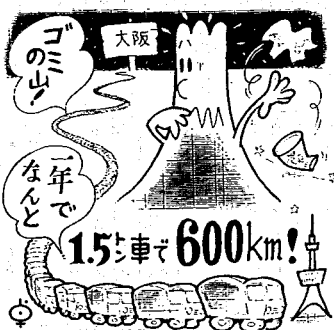


町のすみからすみまで消毒して回る善道町1丁目の人たち

よりよい環境を求めて

昭和五十年度に、全国で排出されたいわゆる家庭ゴミの量は、三千八百二十万トンにもなりました。これに、会社や工場などからも出る同じようなゴミ二千三万トンを加えると、四千二百五十万トンにもなります。

この量ですが、さくらに分かりやすく説明しますと、国民一人が一日当たり三十二グラム（三十二グラム）のゴミを出したことになります。また、一、五トンのゴミ収集車で換算すると、約十三万台分、収集車を一列に並べると六百キロ、ざつと東京から大阪までの長さです。これからも、この家庭ゴミの排出量は増える見通しです。環境庁の試算によると、七年後の昭和六十年には五千七百



万トンという、ぼう大なゴミの量になるだろうと見込まれています。

あなたは、神前ですか／教会ですか／**オサカヤ**は、二人の幸せのためにまごころをこめて、作ります……。

式菓子のご用命は

オサカヤ
本町2 TEL. 2-0112



し尿処理の大きな施設にみんながびっくり

「もつともつと長生きしたいねえ、何しろこんな立派な施設がどんどこできるんだから。私もうんと利用しなくっちゃ」——これは五月十六日に行われた「施設めぐり」と市長懇談会に参加された方の感想です。当日は、し尿処理場、終末処理場建設工事現場、給食センター、それに七月一日オープン予定の新しい図書館を見てまわりました。六万市民対象の施設だけに、参加者たちみんなは、最新鋭の設備やスケールの大きさにびっくりの連続。特に県下一の設備をそえた図書館では、感心することばかりでした。市長懇談会は図書館の一角にある「読書会室」で行われました。快適な部屋の様子が、身近な問題に、市の将来の問題に、活発な意見がどんどん出て、思わず時間をオーバーしてしまうほどでした。次の機会、施設めぐりには、あなたも参加してみませんか。



終末処理場の建設計画を聞く参加者たち



図書館での懇談会



150の固定席を持つ視聴覚ホール



給食センターで子どもたちの昼食をみんなで試食



LL装置もある図書館の演習室

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL (4)5122

お部屋に緑のさわやかさを
店内に観葉植物・各種鉢物を
展示しております。

(株)川名花店

本町3丁目 ☎3-1187代